

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公表番号】特表2015-519959(P2015-519959A)

【公表日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-045

【出願番号】特願2015-514210(P2015-514210)

【国際特許分類】

A 6 1 B 90/00 (2016.01)

A 6 1 M 25/14 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 M 25/14

A 6 1 M 25/00 5 2 0

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

近位端及び遠位端を有し、操縦メカニズムと画像感知構成要素とを備える本体部材と、前記本体部材の前記近位端に連結されたコネクタ構成要素と、

発光構成要素と、

前記本体部材が体液と連通しないように前記本体部材を隔離するように前記本体部材の周りに配設された、除去可能なシースと、

前記除去可能なシースの少なくとも一部分の周りに配設される流体流路と、

前記除去可能なシースの周りに配設された細長いチューブと、備え、

前記細長いチューブが近位端及び遠位端を有し、

前記流体流路が前記細長いチューブと前記除去可能なシースとの間に位置付けられ、

前記細長いチューブが、前記細長いチューブの前記遠位端に隣接したフルートを備える、細長い医療用器具。

【請求項2】

前記除去可能なシースがレンズ部分を備え、前記レンズ部分が、前記レンズ部分を横切って光を伝送するのを可能にするように構成される、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項3】

前記レンズ部分が、幾何学形状の内表面及び幾何学形状の外表面の少なくとも一方を備える、請求項2に記載の細長い医療用器具。

【請求項4】

前記流体流路が、前記コネクタ構成要素に隣接して配設された近位側ポートと前記本体部材の前記遠位端に隣接して配設された遠位側ポートとの間で流体連通を提供し、前記除去可能なシースが前記本体部材を前記流体流路から隔離する、請求項2に記載の細長い医

療用器具。

【請求項 5】

前記流体流路が、流体のフローが前記除去可能なシースの前記レンズ部分を洗浄するよう、前記遠位側ポートから前記流体を方向付けるように構成される、請求項4に記載の細長い医療用器具。

【請求項 6】

前記発光構成要素が前記除去可能なシースの壁内に配設される、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 7】

前記発光構成要素が前記本体部材内に配設される、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 8】

前記画像感知構成要素が、光ファイバーストランド、CCDカメラ、及びCMOSカメラの少なくとも一つを備える、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 9】

前記操縦メカニズムが少なくとも一本の操縦ケーブルを備える、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 10】

前記フルートが、前記本体部材が前記細長いチューブの前記遠位端を越えて伸展されたとき、前記流体流路から流体が流れるのを可能にするように構成される、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 11】

前記フルート間に配設されたタブを更に備え、前記タブが、前記本体部材が前記細長いチューブから伸展するのを阻害するように構成された係止力を働かせるようにして、前記本体部材の前記遠位端を係合するように構成される、請求項10に記載の細長い医療用器具。

【請求項 12】

前記タブが、前記係止力を克服するような前記本体部材に対する遠位方向に配向された力に応答して、前記本体部材が前記細長いチューブから伸展するのを可能にするように構成される、請求項11に記載の細長い医療用器具。

【請求項 13】

前記フルート及び前記タブが、流体のフローが前記除去可能なシースの一部分を洗浄するよう、前記流体経路からの前記流体のフローを方向付けるように構成される、請求項11に記載の細長い医療用器具。

【請求項 14】

前記細長い医療用器具が、Jタイプの栄養チューブ、Gタイプの栄養チューブ、G-Jエクステンションタイプの栄養チューブ、NGタイプの栄養チューブ、NJタイプの栄養チューブ、Jタイプの薬物送達チューブ、NJタイプの薬物送達チューブ、NGタイプの薬物送達チューブ、Gタイプの薬物送達チューブ、及びG-Jエクステンションタイプの薬物送達チューブのうち一つを含む、請求項1に記載の細長い医療用器具。

【請求項 15】

近位端及び遠位端を有し、操縦メカニズムと画像感知構成要素とを備える本体部材と、前記本体部材の前記近位端に連結されたコネクタ構成要素と、発光構成要素と、

前記本体部材が体液と連通しないように前記本体部材を隔離するように前記本体部材の周囲に配設されて構成された、除去可能なシースと、

前記除去可能なシースの周囲に配設される、近位端及び遠位端を有する細長いチューブと、

前記除去可能なシースと前記細長いチューブとの間に配設された流体流路と、を備え、前記細長いチューブは、前記細長いチューブの前記遠位端に隣接したタブを備え、

前記タブが、前記本体部材が前記細長いチューブから伸展するのを阻害するように構成された係止力を働かせるようにして、前記本体部材の前記遠位端を係合するように構成され、

前記タブが、前記係止力を働かせるタブであると同時に前記細長いチューブの遠位ポートを通過するフローを可能にする構成を有する、細長い医療用器具。

【請求項 16】

前記タブが、前記係止力を克服するような前記本体部材に対する遠位方向に配向された力に応答して、前記本体部材が前記細長いチューブから伸展するのを可能にするように構成される、請求項15に記載の細長い医療用器具。

【請求項 17】

前記流体流路を通る流体のフローが前記除去可能なシースの一部分を洗浄するように構成される、請求項15に記載の細長い医療用器具。

【請求項 18】

前記流体流路が、前記細長いチューブの内径内に、複数の長手方向に配向された溝を備える、請求項15に記載の細長い医療用器具。

【請求項 19】

前記細長いチューブが前記細長いチューブの前記遠位端に隣接したフルートを備え、前記フルートが、前記本体部材が前記細長いチューブの前記遠位端を越えて伸展されたとき、前記流体流路から流体が流れるのを可能にするように構成される、請求項18に記載の細長い医療用器具。

【請求項 20】

前記タブが前記フルート間に配設される、請求項19に記載の細長い医療用器具。

【請求項 21】

前記タブが、前記係止力を克服するような前記本体部材に対する遠位方向に配向された力に応答して、前記本体部材が前記細長いチューブから伸展するのを可能にするように構成される、請求項20に記載の細長い医療用器具。

【請求項 22】

細長い医療用器具を得るステップと、

レンズ部分を備える除去可能なシースを得るステップと、

前記除去可能なシースが前記細長い医療用器具を患者の体内の流体から隔離するようにして、前記細長い医療用器具を体内に導入するステップと、

フローが前記レンズ部分を洗浄するように、前記除去可能なシースの周りに配設された流体流路を通してフローを導入するステップとを含む、細長い医療用器具を患者の体内に導入する方法。

【請求項 23】

前記細長い医療用器具及び前記除去可能なシースを前記患者の身体から除去するステップを更に含む、請求項22に記載の方法。

【請求項 24】

前記細長い医療用器具を体内に導入するのに先立って、前記細長い医療用器具及び前記シースを細長いチューブに挿入するステップと、

前記細長いチューブを前記患者の体内で位置付けるステップと、

前記細長い医療用器具及び前記シースを前記患者の身体から除去するステップとを更に含む、請求項22に記載の方法。

【請求項 25】

前記流体流路が前記除去可能なシースと前記細長いチューブとの間に配設される、請求項24に記載の方法。